

松川支所からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所松川支所
〒960-1241 福島市松川町字杉内33番地
☎567-2111 ☒537-2298

令和3年度松川地区自治振興協議会が開催されました



8月17日(火)、松川学習センター多目的ホールにおいて、新型コロナウイルス感染対策を取りながら、松川地区自治振興協議会が開催されました。齋藤裕会長、木幡市長あいさつの後、3件の協議テーマについて地区説明・市見解が示され、質疑が行われました。また、市長との意見交換では、5名の方が発言し、生活基盤整備予算の拡充や通学路の安全確保など、地域の課題について活発な意見が交わされました。

◎協議テーマ1 八丁目城跡周辺整備について

【説明者】松川地区自治振興協議会 常任理事 丹野 義明氏

【内容】①八丁目城跡の保存整備と公園整備を要望。②県道側法面及び周辺に繁茂する樹木の伐採を要望。③地元で除草や樹木の伐採を行う際に資金支援、地元活動を支援する制度を要望。④隣接市有地・施設について廃止・売却処分ではなく、地域活動の拠点として引き続き使用できるよう要望。

【市見解】①発掘調査など詳細な調査が必要。城跡保存や公園整備は、山全体に及ぶ広範囲な調査に多くの時間と労力、費用を要するため実施は困難です。②市有地の樹木伐採は、倒木等の危険性があれば対応。民地の樹木伐採は対応できません。③文化財の維持管理は、管理者が行うことが基本。各地区文化財保存会に活動支援として事業交付金を交付しており、新たな支援制度の創設は考えておりません。④隣接市有地・施設は、耐震性・老朽化から長期使用は見込めない施設ですが、暫定的措置として八丁目城址に関する地域振興などで使用することは可能です。

◎協議テーマ2 福島市南部地区の安全・安心の地域づくりについて

【説明者】関谷町内会会長 河野 忠市氏

【内容】①西道路工事後に松川地区の土地利用計画は変更されるか。②市街化調整区域が多い金谷川地区において農地転用や宅地造成など宅地開発を誘導・促進する施策や規制緩和の検討を。③後継者がいない農地を学生や事業所等に貸して耕作継続できる制度の充実と農地の借り手を増やす仕組み・制度の充実を要望。

【市見解】①人口減少や市街地に開発余地があること、山地や丘陵地に位置し沿線の開発は難しいことから、市街化区域拡大など土地利用計画の変更は困難な状況です。②市街化調整区域でも、居住者が必要な店舗、空き家活用など一定要件を満たせば建築が可能。地区振興に繋がる施設などは、地域の総意のもと地区計画制度の活用によって立地可能。市もまちづくりに関する勉強会開催などで支援をします。③農業委員会は、農地法許可条件農地面積40アール以上の「下限面積」について、農地利用効率化及び新規就農促進の観点から今年度見直しを検討。また、農業委員会の「農地の利用意向調査」で「自分で農地の買い手・借り手を探す」と回答した農家を支援するため、農地の借り手を探す取り組みを昨年度から導入し、新規就農者に対しても、就農前から営農定着まで総合的に支援する事業を提供しています。金谷川地区では、地域農業継続のため金谷川農作業受託組合を今年3月に設立しました。今後も後継者問題を含めた農地利用の在り方について、地元に入って話し合いを重ねて参ります。

◎協議テーマ3 関根地区における水路氾濫防止対策について

【説明者】松川地区自治振興協議会 副会長 服部 謙氏

【内容】近年大雨時に、用排水路と道路排水が合流する箇所でも溢水し、住宅地・農地、道路の浸水が発生。東北道の東側は西側に比べ水路断面が小さく能力不足。排水能力を上げるため、東北道東側水路の改修を要望。

【市見解】当該水路改修は、整備時期の違いから東北道西側と比較すると流下能力が不足している可能性があるため、水路断面や集水桝構造を再検討し、用排水路の再整備と防災減災対策について、国補助事業等を利用した改修を検討します。なお、水路側壁の一部破損は、年度内に修繕工事を進めます。また、水原川から取水する堰水門管理を適正に行うことで、一定程度水量が抑制できることから、堰管理者・水利組合関係者の方々には、大雨時に取水水門ゲートを閉めることに協力をお願いします。



▲女性防火クラブは新調した法被を披露

松川学習センターからのお知らせ

【編集】福島市松川学習センター
〒960-1241 福島市松川町字杉内33番地
☎567-2323/567-2390
☎567-2403

第64回 松川地区文化祭開催中止のお知らせ

○10月23日(土)、24日(日)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ今年度は中止とすることになりました。



若いうちから知っておこう年金制度

老後だけでない生活の柱である公的年金の基礎知識を学ぶ講座を開催します。

- 日 時：11月7日(日) 午後1時30分～3時30分
- 場 所：松川支所「大会議室」
- 対 象：30・40歳代の方
- 定 員：40名
- 講 師：社会保険労務士 大宮 裕子 先生
- 参加費：無料
- 申込み：10月25日(月)までに松川学習センターへ電話で申し込みください。
- 主 催：福島市生涯学習推進の会

図書室からのお知らせ♪ ～お気軽にお越しください～

おはなし会名	対 象	日 時 等	場 所	定 員	参加費
☆おひざにだっこのおはなしかい	3歳児までのお子さんとその保護者	10月7日(木) 11月4日(木)	午前10時30分～ 和室	6組 (当日先着順)	無料
☆おはなしロケット	4歳から小学生まで	10月2日(土)「へんてこ」 11月6日(土)「いろんなおと」			

移動図書館しのぶ号巡回日程

巡回日	10/11月			
巡回場所	金谷川小学校	水原小学校	下川崎小学校	松川小学校
巡回時間	10:00～10:40	11:00～11:35	13:00～13:50	14:30～15:10

松川の歴史紹介 地元を知るう！面白いぞ松川の歴史

松川町文化財保存会会員 加藤 一郎

①八丁目文化を伝える大発見！「加藤候一」の鳥羽絵・文書の数々

ますや旅館の玄関から続く廊下の突き当りの壁に、小さな額の絵が掛けられていることに気が付いた方はいるだろうか。ご主人によると、旅館を改装した際に土蔵の中からみつけたものだという。江戸時代に活躍した加藤候一の鳥羽絵である。

加藤候一について記した福島市史からその一部を紹介する。「候一は鼓岡中町の人、屋号は榎屋、通称は銀五郎、呉服商で広く関東北に取引した。狂歌狂画がとくいで鳥羽絵を描く。「奥羽一覽道中膝栗毛」に挿絵を描いたのが加藤候一である。文久3年(1863)正月11日歿73歳。」とある。



町人の文化が栄えた江戸時代の文化文政時代に、当地八丁目宿にも加藤紫明(俳諧)、百舌鳥廻舎排(もすのやはい、狂歌)等を中心として活躍した八丁目文化とも呼ばれた時代があった。彼らの足跡は西光寺や盛林寺の句碑や歌碑として知ることできるが、候一については形として見えているものは少ない。そんな中、土蔵を整理した際に少しだけ取っておいたという鳥羽絵や覚え書き等の数々は、八丁目文化が栄えた証しとしての大発見とも言えるものである。

今まで、何気なく処分された古い書物や文書の中にも価値ある宝があったかもしれない。埋もれている郷土の宝物がほかにも見つかるのではないか。是非、見つけ出して日の目を見させてあげたいものである。

なお、次のように資料展などを開催することになったので、ぜひご覧ください。

～幕末に八丁目宿が生んだ～ 画家加藤候一の世界

展 示 会

- 日 時：11月6日(土)～11月14日(日)
午前10時～午後4時
- 場 所：学習センター「研修室3」

シンポジウム

- 日 時：11月11日(木) 午後1時30分～3時
- 場 所：学習センター「多目的ホール」
- 定 員：先着80名 ※資料代200円を当日徴収します。
- 申込み：松川学習センターへ電話で申し込みください。